

科目名		開講区分	授業形態	時間数・単位	実務経験	担当者
化学		1年次 前期	講義	15 1単位	有	和田 未来子
概要	科学の基礎および生体の構造と機能について学ぶ。					
目標	歯科衛生士として必要な化学の基礎的内容、物質に係る化学的仕組みを理解する。					
成績 評価	学科試験および出席状況により評定する。試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 定期試験80%・小テスト10%・授業への取り組み10% ■筆記試験 □実技試験 □その他					
備考						
回数	授業計画および学習内容					
1	物質とは何か（原子の構造・化学結合）					
2	気体の法則					
3	溶液とコロイドの性質、酸とアルカリ、濃度計算					
4	酸化還元					
5	化学反応とは					
6	有機化合物の成り立ち					
7	生体を構成する物質					
8	復習・定期試験					
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
教員紹介 (実務経験のある教員)	歯科医院での臨床経験を経て、製菓専門学校や西東京調理師専門学校において、公衆衛生学をはじめとする専門科目の教育に携わる。歯科医療現場で培った実践的な知識と豊富な教育経験を活かし、健康と衛生に関する基礎知識を分かりやすく解説する。身近な事例を取り入れながら、学生が理解しやすく、実践につながる授業を行っている。					

科目名		開講区分	授業形態	時間数・単位	実務経験	担当者
生物学		1年次 前期	講義	15 1単位	有	和田 未来子
概要	高校卒業レベルの生物の基礎的知識・生命の仕組みについて学ぶ。					
目標	歯科衛生士として必要な生物の基礎的な知識を身につける。 人間をはじめとする生物の構造・仕組み等を理解する。					
成績 評価	学科試験および出席状況により評定する。試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 定期試験80％・小テスト10％・授業への取り組み10％ ■筆記試験 □実技試験 □その他					
備考						
回数	授業計画および学習内容					
1	生物の多様性・生命とは					
2	細胞の構造と構成物質					
3	生体エネルギーと代謝、組織と器官					
4	生殖と分裂、遺伝の法則					
5	遺伝子とDNA					
6	発生と生殖医療					
7	恒常性と生体防御					
8	まとめと定期試験					
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
教員紹介 (実務経験のある教員)	歯科医院での臨床経験を経て、製菓専門学校や西東京調理師専門学校において、公衆衛生学をはじめとする専門科目の教育に長年携わる。歯科医療現場で培った実践的な知識と豊富な教育経験を活かし、健康と衛生に関する基礎知識を分かりやすく解説する。身近な事例を取り入れながら、学生が理解しやすく、実践につながる授業を行っている。					

科目名		開講区分	授業形態	時間数・単位	実務経験	担当者
生化学		1年次 前期	講義	30 2単位	有	和田 未来子
概要	生物体（口腔）の構成物質および生物体内（口腔）での化学反応を学ぶ。					
目標	歯科衛生士として必要な生化学・口腔生化学の基礎的な知識を習得する。					
成績 評価	学科試験および出席状況により評定する。試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 定期試験80％・小テスト10％・授業への取り組み10％ ■筆記試験 □実技試験 □その他					
備考						
回数	授業計画および学習内容					
1	生体の構成要素・細胞の役割					
2	細胞内小器官・水の性質と水素イオン濃度					
3	糖質の構造と種類					
4	脂質の構造と種類					
5	タンパク質の構造と役割					
6	消化と吸収・エネルギー代謝とATP・糖質の代謝					
7	結合組織の組成					
8	コラーゲンの合成					
9	硬組織の生化学① 血清カルシウムの調整					
10	硬組織の生化学② 骨の生成と吸収					
11	唾液の組成と機能					
12	プラークの種類と形成①					
13	プラークの種類と形成②					
14	pH測定法					
15	復習・定期試験					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
教員紹介 (実務経験のある教員)	歯科医院での臨床経験を経て、製菓専門学校や西東京調理師専門学校において、公衆衛生学をはじめとする専門科目の教育に長年携わる。歯科医療現場で培った実践的な知識と豊富な教育経験を活かし、健康と衛生に関する基礎知識を分かりやすく解説する。身近な事例を取り入れながら、学生が理解しやすく、実践につながる授業を行っている。					

科目名		開講区分	授業形態	時間数・単位	実務経験	担当者
心理学		1年次 後期	講義	30 2単位	有	鬼頭 のり子
概要	心理学全般、精神の発達とそのメカニズムについて学習する。					
目標	歯科衛生士として必要な心理学の基礎知識を習得する。 患者さんの気持ちに寄り添い、心理的負担軽減に繋がられるような実践的対応ができるようになる。					
成績 評価	学科試験および出席状況により評定する。試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 定期試験80%・小テスト10%・授業への取り組み10% ■筆記試験 □実技試験 □その他					
備考						
回数	授業計画および学習内容					
1	心理学の歩み、歴史					
2	学習と記憶					
3	知覚の基礎					
4	動機づけと欲求・ストレスとその対処②					
5	動機づけと欲求・ストレスとその対処①					
6	パーソナリティとは					
7	知能とは					
8	発達とは①					
9	発達とは②					
10	個人と集団①					
11	個人と集団②					
12	個人と集団③					
13	心身の健康とは					
14	カウンセリングとは					
15	復習・定期試験					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
教員紹介 (実務経験のある教員)	歯科医院で約6年間の臨床経験を積んだ後、フリーランス歯科衛生士として幅広く活動している。臨床経験を活かし、歯科衛生士に必要な実践的知識や患者対応について分かりやすく指導する。心理カウンセラーの資格をはじめ、アロマセラピストやフェイシャルリンパマッサージの資格も有し、心身の健康やコミュニケーションを大切に視点を授業に取り入れている。					

科目名		開講区分	授業形態	時間数・単位	実務経験	担当者
倫理学		1年次 後期	講義	30 2単位	有	鬼頭 のり子
概要	医療に係る倫理や問題点について解説する。					
目標	医療に携わる職業人として必要な倫理について理解する。 医療人としての心構えやインフォームドコンセントに基づいた対応を習得する。					
成績 評価	学科試験および出席状況により評定する。試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 定期試験80%・小テスト10%・授業への取り組み10% ■筆記試験 □実技試験 □その他					
備考						
回数	授業計画および学習内容					
1	歯科医療に係る倫理とは					
2	生命倫理学①					
3	生命倫理学②					
4	医療倫理に関する規範と法規					
5	インフォームド・コンセント					
6	セカンド・オピニオン					
7	生命の質（QOL）・生命の尊厳（SOL）					
8	安楽死・尊厳死					
9	生命倫理学に関わる諸問題					
10	研究と医療倫理					
11	医療従事者の職業倫理					
12	歯科医療倫理と医療現場における人の行動①					
13	歯科医療倫理と医療現場における人の行動②					
14	歯科医療倫理と医療現場における人の行動③					
15	復習・定期試験					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
教員紹介 (実務経験のある教員)	歯科医院で約6年間の臨床経験を積んだ後、フリーランス歯科衛生士として幅広く活動している。臨床経験を活かし、歯科衛生士に必要な実践的知識や患者対応について分かりやすく指導する。心理カウンセラーの資格をはじめ、アロマセラピストやフェイシャルリンパマッサージの資格も有し、心身の健康やコミュニケーションを大切に視点を授業に取り入れている。					

科目名		開講区分	授業形態	時間数・単位	実務経験	担当者
解剖学		1年次 前期	講義	30 2単位	有	和田 未来子
概要	基本的な人体の構造の正常・異常について学習する。					
目標	人体の構造や各器官について基本的な知識を習得する。					
成績 評価	学科試験および出席状況により評定する。試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 定期試験80％・小テスト10％・授業への取り組み10％ ■筆記試験 □実技試験 □その他					
備考						
回数	授業計画および学習内容					
1	解剖学の意義、人体の構成とは					
2	骨格系①					
3	骨格系②					
4	体の各部位の筋系					
5	内臓系①					
6	内臓系② 消化・吸収					
7	脈管系①					
8	脈管系② 循環					
9	神経系①					
10	神経系②					
11	呼吸器系①					
12	呼吸器系②					
13	皮膚・粘膜					
14	その他感覚器（視覚器・平衡聴覚器・味覚器・嗅覚器）					
15	復習・定期試験					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
教員紹介 (実務経験のある教員)	歯科医院での臨床経験を経て、製菓専門学校や西東京調理師専門学校において、公衆衛生学をはじめとする専門科目の教育に長年携わる。歯科医療現場で培った実践的な知識と豊富な教育経験を活かし、健康と衛生に関する基礎知識を分かりやすく解説する。身近な事例を取り入れながら、学生が理解しやすく、実践につながる授業を行っている。					

科目名		開講区分	授業形態	時間数・単位	実務経験	担当者
組織・発生学		1年次 前期	講義	15 1単位	有	和田 祐季
概要	人体を構成する組織とその発生について学習する。					
目標	基本的な人体を構成する組織の成り立ち、発生の過程とその仕組みを理解する。					
成績 評価	学科試験および出席状況により評定する。試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 定期試験80％・小テスト10％・授業への取り組み10％ ■筆記試験 □実技試験 □その他					
備考						
回数	授業計画および学習内容					
1	発生					
2	胎児の成長と発育					
3	人体を構成する組織					
4	細胞の基本構造					
5	細胞分裂					
6	組織の分類①					
7	組織の分類②					
8	総復習・定期試験					
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
教員紹介 (実務経験のある教員)	大学卒業後、同大学大学院にて歯周病学の研究に従事。その後、同大学歯周病学講座の非常勤講師を経て、歯科医院に勤務し臨床経験を積む。研究・教育・臨床で培った専門知識を活かし、歯周疾患の基礎から臨床までを体系的かつ分かりやすく解説する。科学的根拠に基づいた考え方を大切にし、学生が実践につながる知識を身に付けられる授業を行っている。					

科目名		開講区分	授業形態	時間数・単位	実務経験	担当者
生理学		1年次 前期	講義	15 1単位	有	和田 祐季
概要	歯科衛生士として、臨床で求められる生理学の基礎的な知識を広く学ぶ。					
目標	全身に関わる生理学の基礎について理解する。 生体に備わる正常な機能、働き、そのメカニズムを理解する。					
成績 評価	学科試験および出席状況により評定する。試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 定期試験80％・小テスト10％・授業への取り組み10％ ■筆記試験 □実技試験 □その他					
備考						
回数	授業計画および学習内容					
1	生理学とは 細胞・体液					
2	体液の循環・呼吸					
3	消化および吸収					
4	尿の生成および排出					
5	代謝					
6	体温					
7	内分泌と生殖					
8	定期試験					
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
教員紹介 (実務経験のある教員)	大学卒業後、同大学大学院にて歯周病学の研究に従事。その後、同大学歯周病学講座の非常勤講師を経て、歯科医院に勤務し臨床経験を積む。研究・教育・臨床で培った専門知識を活かし、歯周疾患の基礎から臨床までを体系的かつ分かりやすく解説する。科学的根拠に基づいた考え方を大切にし、学生が実践につながる知識を身に付けられる授業を行っている。					

科目名		開講区分	授業形態	時間数・単位	実務経験	担当者
口腔生理学		1年次 後期	講義	30 2単位	有	和田 未来子
概要	歯科衛生士として、臨床で求められる口腔生理学の基礎的な知識を広く学ぶ。					
目標	歯科衛生士として必要な口腔生理に係る基礎的な知識を習得する。 唾液、顎、舌などの正常な機能について学ぶ。					
成績 評価	学科試験および出席状況により評定する。試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 定期試験80%・小テスト10%・授業への取り組み10% ■筆記試験 □実技試験 □その他					
備考						
回数	授業計画および学習内容					
1	口腔生理学とは					
2	筋と神経 運動生理学					
3	感覚①					
4	感覚②					
5	歯および歯周組織の生理					
6	咬合および顎運動					
7	咀嚼および吸啜①					
8	咀嚼および吸啜②					
9	嚥下					
10	誤嚥・嘔吐					
11	唾液腺および唾液					
12	口腔感覚					
13	発声および発音①					
14	発声および発音②					
15	まとめ・定期試験					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
教員紹介 (実務経験のある教員)	歯科医院での臨床経験を経て、製菓専門学校や西東京調理師専門学校において、公衆衛生学をはじめとする専門科目の教育に長年携わる。歯科医療現場で培った実践的な知識と豊富な教育経験を活かし、健康と衛生に関する基礎知識を分かりやすく解説する。身近な事例を取り入れながら、学生が理解しやすく、実践につながる授業を行っている。					

科目名		開講区分	授業形態	時間数・単位	実務経験	担当者
口腔解剖学		1年次 後期	講義	30 2単位	有	和田 未来子
概要	歯と歯周組織、口腔を構成する解剖学的な構造について学習する。					
目標	口腔、歯、歯周組織の基本的構造を理解する。					
成績 評価	学科試験および出席状況により評定する。試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 定期試験80％・小テスト10％・授業への取り組み10％ ■筆記試験 □実技試験 □その他					
備考						
回数	授業計画および学習内容					
1	口腔解剖学とは 口腔を構成する構造					
2	エナメル質					
3	象牙質・歯髄複合体					
4	セメント質、歯根膜、歯槽骨					
5	歯肉の特徴と構造、歯胚の発生と組織					
6	歯根の形成、歯の交換と萌出					
7	顎顔面口腔の発生					
8	口腔内臓					
9	歯科領域の骨① 頭蓋骨・上顎骨・下顎骨					
10	歯科領域の骨② 蝶形骨・側頭骨					
11	歯科領域の筋肉					
12	歯科領域の血管					
13	口腔領域に係る神経					
14	唾液腺、咽頭、喉頭					
15	定期試験					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
教員紹介 (実務経験のある教員)	歯科医院での臨床経験を経て、製菓専門学校や西東京調理師専門学校において、公衆衛生学をはじめとする専門科目の教育に長年携わる。歯科医療現場で培った実践的な知識と豊富な教育経験を活かし、健康と衛生に関する基礎知識を分かりやすく解説する。身近な事例を取り入れながら、学生が理解しやすく、実践につながる授業を行っている。					

科目名		開講区分	授業形態	時間数・単位	実務経験	担当者
口腔組織発生学		1年次 後期	講義	15 1単位	有	和田 未来子
概要	口腔や歯牙を構成する組織とその発生について学習する。					
目標	歯科衛生士として必要な口腔組織の基礎的な知識を習得する。					
成績 評価	学科試験および出席状況により評定する。試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 定期試験80％・小テスト10％・授業への取り組み10％ ■筆記試験 □実技試験 □その他					
備考						
回数	授業計画および学習内容					
1	顔面の発生					
2	口腔・歯牙の発生①					
3	口腔・歯牙の発生②					
4	歯と歯周の組織①					
5	歯と歯周の組織②					
6	歯肉					
7	顎					
8	まとめ・定期試験					
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
教員紹介 (実務経験のある教員)	歯科医院での臨床経験を経て、製菓専門学校や西東京調理師専門学校において、公衆衛生学をはじめとする専門科目の教育に長年携わる。歯科医療現場で培った実践的な知識と豊富な教育経験を活かし、健康と衛生に関する基礎知識を分かりやすく解説する。身近な事例を取り入れながら、学生が理解しやすく、実践につながる授業を行っている。					

科目名		開講区分	授業形態	時間数・単位	実務経験	担当者
歯牙解剖学		1年次 後期	講義	15 1単位	有	和田 祐季
概要	主に乳歯・永久歯のそれぞれの形態的特徴について学習する。					
目標	歯と歯周組織の基本的構造を理解する。 歯の形態と鑑別、配列と咬合等、歯科衛生士として臨床現場で必要な知識を身につける。					
成績 評価	学科試験および出席状況により評定する。試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 定期試験80％・小テスト10％・授業への取り組み10％ ■筆記試験 □実技試験 □その他					
備考						
回数	授業計画および学習内容					
1	歯の解剖学入門					
2	歯の配列と咬合					
3	永久歯①					
4	永久歯②					
5	永久歯③					
6	乳歯					
7	異常歯					
8	総復習・定期試験					
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
教員紹介 (実務経験のある教員)	大学卒業後、同大学大学院にて歯周病学の研究に従事。その後、同大学歯周病学講座の非常勤講師を経て、歯科医院に勤務し臨床経験を積む。研究・教育・臨床で培った専門知識を活かし、歯周疾患の基礎から臨床までを体系的かつ分かりやすく解説する。科学的根拠に基づいた考え方を大切にし、学生が実践につながる知識を身に付けられる授業を行っている。					

科目名		開講区分	授業形態	時間数・単位	実務経験	担当者
病理学		1年次 後期	講義	30 2単位	有	和田 祐季
概要	病気（口腔領域）の基本的な成り立ちを学ぶ。					
目標	病理についての基本事項を理解し、口腔領域の様々な組織に発生した病変について知識を習得する。 口腔病変と全身疾患との関連性について理解する。					
成績 評価	学科試験および出席状況により評定する。試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 定期試験80％・小テスト10％・授業への取り組み10％ ■筆記試験 □実技試験 □その他					
備考						
回数	授業計画および学習内容					
1	病理学とは					
2	遺伝性疾患と奇形					
3	循環障害					
4	代謝障害と退行・進行性病変					
5	炎症と免疫応答					
6	腫瘍					
7	歯の発育異常、損傷					
8	う蝕					
9	象牙質・歯髄複合体の病態					
10	歯周組織の病態					
11	口腔粘膜の病変					
12	口腔領域の嚢胞と腫瘍、口腔癌					
13	顎骨の病変、唾液腺の病変					
14	口腔領域の奇形、口腔組織の加齢変化					
15	定期試験					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
教員紹介 (実務経験のある教員)	大学卒業後、同大学大学院にて歯周病学の研究に従事。その後、同大学歯周病学講座の非常勤講師を経て、歯科医院に勤務し臨床経験を積む。研究・教育・臨床で培った専門知識を活かし、歯周疾患の基礎から臨床までを体系的かつ分かりやすく解説する。科学的根拠に基づいた考え方を大切にし、学生が実践につながる知識を身に付けられる授業を行っている。					

科目名		開講区分	授業形態	時間数・単位	実務経験	担当者
薬理学		1年次 後期	講義	30 2単位	有	和田 未来子
概要	歯科治療に影響する薬の相互作用について学ぶ。					
目標	歯科衛生士として必要な薬物の効力、発現を理論的に理解する。					
成績 評価	学科試験および出席状況により評定する。試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 定期試験80%・小テスト10%・授業への取り組み10% ■筆記試験 □実技試験 □その他					
備考						
回数	授業計画および学習内容					
1	薬物の定義、薬理学とは					
2	薬物関連法規					
3	薬物動態					
4	薬物の併用・副作用					
5	抗炎症薬					
6	歯科治療と薬①					
7	歯科治療と薬②					
8	全身疾患と薬①					
9	全身疾患と薬②					
10	全身疾患と薬③					
11	消毒薬					
12	麻酔薬					
13	感染症に関連する薬					
14	口腔疾患に関連する薬					
15	定期試験					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
教員紹介 (実務経験のある教員)	歯科医院での臨床経験を経て、製菓専門学校や西東京調理師専門学校において、公衆衛生学をはじめとする専門科目の教育に長年携わる。歯科医療現場で培った実践的な知識と豊富な教育経験を活かし、健康と衛生に関する基礎知識を分かりやすく解説する。身近な事例を取り入れながら、学生が理解しやすく、実践につながる授業を行っている。					

科目名		開講区分	授業形態	時間数・単位	実務経験	担当者
微生物学		1年次 後期	講義	30 2単位	有	和田 祐季
概要	広く微生物に関する基礎知識、感染症の成り立ちや口腔微生物と疾患について学習する。					
目標	細菌、真菌、ウイルスなどの微生物によって引き起こされる歯科関連疾患について理解する。 歯科衛生士として必要な微生物の特性、免疫学的知識、感染予防の知識を身につける。					
成績 評価	学科試験および出席状況により評定する。試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 定期試験80%・小テスト10%・授業への取り組み10% ■筆記試験 □実技試験 □その他					
備考						
回数	授業計画および学習内容					
1	微生物とは					
2	感染の概念					
3	感染経路					
4	細菌の特性・構造					
5	細菌感染症①					
6	細菌感染症②					
7	ウイルスの特性・構造					
8	ウイルス感染症①					
9	ウイルス感染症②					
10	真菌・その他					
11	自然免疫と獲得免疫・アレルギー					
12	口腔微生物の特徴					
13	う蝕・歯周病の成り立ち					
14	化学療法の作用機序・消毒・滅菌					
15	定期試験					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
教員紹介 (実務経験のある教員)	大学卒業後、同大学大学院にて歯周病学の研究に従事。その後、同大学歯周病学講座の非常勤講師を経て、歯科医院に勤務し臨床経験を積む。研究・教育・臨床で培った専門知識を活かし、歯周疾患の基礎から臨床までを体系的かつ分かりやすく解説する。科学的根拠に基づいた考え方を大切にし、学生が実践につながる知識を身に付けられる授業を行っている。					

科目名		開講区分	授業形態	時間数・単位	実務経験	担当者
口腔衛生学Ⅰ		1年次 前期	講義	15 1単位	有	和田 未来子
概要	歯科疾患の予防と口腔衛生の向上のための口腔清掃や歯磨剤、洗口剤等について学習する。					
目標	歯科衛生士として必要な口腔衛生の基礎知識を習得する。					
成績 評価	学科試験および出席状況により評定する。試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 定期試験80%・小テスト10%・授業への取り組み10% ■筆記試験 □実技試験 □その他					
備考						
回数	授業計画および学習内容					
1	口腔衛生・疫学とは 疾病や健康障害の発生要因					
2	疫学の方法 観察研究と介入研究					
3	う蝕に関する指標					
4	歯周病に関する指標					
5	口腔清掃状態に関する指標・その他の指標					
6	歯科疾患の疫学					
7	衛生統計の基礎・歯科保健統計					
8	総復習・定期試験					
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
教員紹介 (実務経験のある教員)	歯科医院での臨床経験を経て、製菓専門学校や西東京調理師専門学校において、公衆衛生学をはじめとする専門科目の教育に長年携わる。歯科医療現場で培った実践的な知識と豊富な教育経験を活かし、健康と衛生に関する基礎知識を分かりやすく解説する。身近な事例を取り入れながら、学生が理解しやすく、実践につながる授業を行っている。					

科目名		開講区分	授業形態	時間数・単位	実務経験	担当者
衛生学・公衆衛生学		1年次 後期	講義	30 2単位	有	和田 未来子
概要	「すべての人々」が健康につながる方法として公衆衛生の概念・重要性・国策などを広く学習する。					
目標	健康問題とそれを取り巻く環境因子との相互関係を学び、衛生・公衆衛生学的な考え方を身につける。					
成績 評価	学科試験および出席状況により評定する。試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 定期試験80％・小テスト10％・授業への取り組み10％ ■筆記試験 □実技試験 □その他					
備考						
回数	授業計画および学習内容					
1	公衆衛生・衛生学総論					
2	人口に関する統計					
3	感染症の概念・感染の3大要因と予防と類型					
4	感染症の動向と予防 感染症（1～5類）結核・らい病					
5	生活環境について、空気・水・温熱環境・気候それぞれの基準と意味					
6	廃棄物・四大公害訴訟・地球環境					
7	食品と健康					
8	疫学					
9	地域保健					
10	母子保健①					
11	母子保健②・学校保健①					
12	学校保健②・成人老人保健					
13	産業保健・精神保健					
14	国際保健					
15	定期試験					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
教員紹介 (実務経験のある教員)	歯科医院での臨床経験を経て、製菓専門学校や西東京調理師専門学校において、公衆衛生学をはじめとする専門科目の教育に長年携わる。歯科医療現場で培った実践的な知識と豊富な教育経験を活かし、健康と衛生に関する基礎知識を分かりやすく解説する。身近な事例を取り入れながら、学生が理解しやすく、実践につながる授業を行っている。					

科目名		開講区分	授業形態	時間数・単位	実務経験	担当者
栄養学		1年次 前期	講義	30 2単位	無	一柳 晶子
概要	食物の栄養と歯科との関わりについて探究する。					
目標	歯科衛生士に必要な栄養学の基礎知識を習得する。					
成績 評価	学科試験および出席状況により評定する。試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 定期試験80%・小テスト10%・授業への取り組み10% ■筆記試験 □実技試験 □その他					
備考						
回数	授業計画および学習内容					
1	栄養の基礎知識					
2	食事摂取基準					
3	五大栄養素の働き（糖質）					
4	五大栄養素の働き（タンパク質）					
5	五大栄養素の働き（脂質）					
6	五大栄養素の働き（ビタミン）					
7	五大栄養素の働き（ミネラル）					
8	水の働き					
9	食物繊維の働き					
10	食生活と健康					
11	望ましい食生活					
12	食事環境と計画					
13	ライフステージ別の栄養と調理					
14	食べ物と健康					
15	定期試験					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
教員紹介 (実務経験のある教員)						

科目名		開講区分	授業形態	時間数・単位	実務経験	担当者
歯科衛生士総論		1年次 前期	講義 演習	15 1単位	有	鬼頭 のり子
概要	歯科衛生の歴史や歯科衛生の考え方、歯科衛生士の活動と組織、歯科衛生士の役割などを広く学ぶ。					
目標	歯科衛生士としての人間性を養い、歯科衛生士の業務を理解する。					
成績 評価	学科試験および出席状況により評定する。試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 定期試験80%・小テスト10%・授業への取り組み10% ■筆記試験 □実技試験 □その他					
備考						
回数	授業計画および学習内容					
1	歯科衛生学とは					
2	歯科衛生と健康					
3	歯科衛生の歴史					
4	歯科衛生業務の現状					
5	歯科衛生活動のための理論					
6	予防の概念					
7	歯科衛生過程					
8	復習・定期試験					
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
教員紹介 (実務経験のある教員)	歯科医院で約6年間の臨床経験を積んだ後、フリーランス歯科衛生士として幅広く活動している。臨床経験を活かし、歯科衛生士に必要な実践的知識や患者対応について分かりやすく指導する。心理カウンセラーの資格をはじめ、アロマセラピストやフェイシャルリンパマッサージの資格も有し、心身の健康やコミュニケーションを大切に視点を授業に取り入れている。					

科目名		開講区分	授業形態	時間数・単位	実務経験	担当者
歯科臨床総論		1年次 前期	講義	15 1単位	有	和田 祐季
概要	歯科衛生士の歯科臨床における業務内容と役割を総合的に学習する。					
目標	歯科衛生士として必要不可欠な、臨床に関わる基本的知識を身につける。					
成績 評価	学科試験および出席状況により評定する。試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 定期試験80％・小テスト10％・授業への取り組み10％ ■筆記試験 □実技試験 □その他					
備考						
回数	授業計画および学習内容					
1	歯科診療とは 各歯科診療の現場における業務					
2	各ライフステージにおける歯科の役割					
3	小児歯科・矯正歯科					
4	口腔外科					
5	歯科保存・歯周治療					
6	歯周治療・歯科補綴					
7	障害者歯科・高齢者歯科					
8	まとめ・定期試験					
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
教員紹介 (実務経験のある教員)	大学卒業後、同大学大学院にて歯周病学の研究に従事。その後、同大学歯周病学講座の非常勤講師を経て、歯科医院に勤務し臨床経験を積む。研究・教育・臨床で培った専門知識を活かし、歯周疾患の基礎から臨床までを体系的かつ分かりやすく解説する。科学的根拠に基づいた考え方を大切に、学生が実践につながる知識を身に付けられる授業を行っている。					

科目名		開講区分	授業形態	時間数・単位	実務経験	担当者
歯科予防処置論Ⅰ		1年次 前期	講義 演習	45 3単位	有	小池 匡子
概要	歯と口腔の疾患を予防し、健康な状態を維持・増進するための専門的な知識・技術・実践力を身につける。					
目標	口腔疾患予防のために必要な知識・技能を習得する。 口腔疾患予防処置を適切に行えるよう、う蝕と歯周病に関する専門的な知識を理解する。					
成績 評価	学科試験および出席状況により評定する。試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 定期（筆記）試験50％（平常点含む）・実技試験50％（提出物含む） ■筆記試験 ■実技試験 □その他					
備考						
回数	授業計画および学習内容					
1	歯科予防処置とは					
2	口腔の基礎知識					
3	歯周病の基礎知識					
4	口腔内診査①					
5	口腔内診査②					
6	実習室オリエンテーション・プロービング① マネキン実習					
7	プロービング② 相互実習					
8	プロービング③ 相互実習					
9	プロービング④ 相互実習					
10	スケーラーについて マネキン実習					
11	シッケルスケーラー① マネキン実習					
12	シッケルスケーラー② マネキン実習					
13	シッケルスケーラー③ 相互実習					
14	シッケルスケーラー④ 相互実習					
15	シッケルスケーラー⑤ 相互実習					
16	シッケルスケーラー⑥ 相互実習					
17	シャープニング（シッケルスケーラー）					
18	歯面清掃・歯面研磨・口腔内洗浄					
19	キュレットスケーラー① マネキン実習					
20	キュレットスケーラー② マネキン実習					
21	キュレットスケーラー③ マネキン実習					
22	シャープニング（キュレットスケーラー）					
23	復習・定期試験					
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
教員紹介 (実務経験のある教員)	歯科医院にて約15年間の臨床経験を積んだ後、歯科衛生士養成校において教育に携わる。豊富な臨床経験と教育経験を活かし、歯科衛生士に必要な知識・技術を実践的な視点から分かりやすく指導する。終末期ケア専門士の認定資格を有し、高齢者や終末期患者への口腔ケア、多職種連携の重要性についても臨床経験を交えながら丁寧に解説する。					

科目名		開講区分	授業形態	時間数・単位	実務経験	担当者
歯科栄養指導法		1年次 前期	講義 演習	15 1単位	無	一柳 晶子
概要	栄養の基礎知識を学習し、それを患者さんに伝えるための指導法を学ぶ。					
目標	歯科衛生士として必要な栄養指導のための知識及び食生活指導の知識を習得し、説明できるようになる。					
成績 評価	学科試験および出席状況により評定する。試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 定期試験80％・授業への取り組み10％・提出物10％ ■筆記試験 □実技試験 □その他					
備考						
回数	授業計画および学習内容					
1	栄養指導とは					
2	食品成分と分類・食べ物の物性①					
3	食品成分と分類・食べ物の物性②					
4	歯と食生活①					
5	歯と食生活②					
6	グループワークと実習①					
7	グループワークと実習②					
8	まとめ・定期試験					
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
教員紹介 (実務経験のある教員)						

科目名		開講区分	授業形態	時間数・単位	実務経験	担当者
歯科診療補助論Ⅰ		1年次 前期	実習	90 3単位	有	佐藤 奈々
概要	診療補助業務時に必要な知識と技術について学ぶ。					
目標	歯科衛生士として必要な歯科診療補助の基礎的な知識を習得する。 歯科診療補助を行うにあたり、必要な技能を習得する。					
成績 評価	学科試験および出席状況により評定する。試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 定期（筆記）試験50%（平常点含む）・実技試験50%（提出物含む） ■筆記試験 ■実技試験 □その他					
備考						
回数	授業計画および学習内容					
1	歯科診療補助とは					
2	医療安全について					
3	歯科医院でのアクシデントとインシデント					
4	歯科診療における感染リスク					
5～6	感染予防対策					
7	消毒法					
8	滅菌法					
9	医療廃棄物とは その取扱いと廃棄					
10	診療室内の設備					
11～12	歯科診療所における患者対応					
13	診療時の共同動作					
14～15	アシスタントのポジショニング					
15	実習時の身だしなみについて					
16～18	共同動作 バキューム操作					
19～21	アルジネート印象材の取扱い					
22～25	その他印象材の取扱い					
26～29	歯科用セメントの取扱い					
30～34	ラバーダム防湿について					
35～37	歯間分離・隔壁					
38～40	歯肉圧排					
41～42	仮封材					
43	各種衛生材料の作成					
44	復習					
45	定期試験					
教員紹介 (実務経験のある教員)	歯科医院にて約5年間の臨床経験を積み、歯科衛生士として幅広い診療業務に従事する。ホワイトニングコーディネーターの資格を有し、審美歯科に関する専門的な知識と技術を活かした指導を行う。臨床現場での経験を交えながら、学生が実践的に学べる分かりやすく丁寧な授業を実践している。					

[illegible]

科目名		開講区分	授業形態	時間数・単位	実務経験	担当者
情報処理業務		1年次 後期	講義 演習	30 2単位	有	和田 未来子
概要	Canvaを用いた画像や動画の編集、歯科診療の報酬計算および保険請求業務について学習する。					
目標	歯科衛生士として勤務するにあたり必要な、基礎的な保険請求業務知識を習得する。 Canvaを用いて画像作成と動画編集を行うことができる。					
成績 評価	学科試験および出席状況により評定する。試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 定期（筆記）試験50%（平常点含む）・実技試験50%（提出物含む） ■筆記試験 ■実技試験 □その他					
備考	各自タブレットやスマートフォン等端末の準備（「Canva」アプリ使用可能なバージョンにて準備）					
回数	授業計画および学習内容					
1	情報リテラシーとは					
2	Gmailアカウントの取得					
3	メールのマナー					
4	「Canva」アプリにて画像作成					
5	「Canva」アプリにて動画作成①					
6	「Canva」アプリにて動画作成②					
7	グループ発表					
8	社会保険制度・基本診察料					
9	医学管理・在宅医療					
10	検査と診断					
11	放射線治療・投薬					
12	手術・各処置					
13	歯科矯正・リハビリテーション					
14	歯冠修復および欠損補綴					
15	復習・定期試験					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
教員紹介 (実務経験のある教員)	歯科医院での臨床経験を経て、製菓専門学校や西調理師専門学校において、公衆衛生学をはじめとする専門科目の教育に長年携わる。歯科医療現場で培った実践的な知識と豊富な教育経験を活かし、健康と衛生に関する基礎知識を分かりやすく解説する。身近な事例を取り入れながら、学生が理解しやすく、実践につながる授業を行っている。					

科目名		開講区分	授業形態	時間数・単位	実務経験	担当者
ケアコミュニケーション		1年次 不定期	講義 演習	15 1単位	有	鬼頭 のり子
概要	一般的な人と人とのコミュニケーションについて広く学習する。					
目標	歯科衛生士として必要な患者対応スキル、対人関係スキルを身につける。					
成績 評価	学科試験および出席状況により評定する。試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 定期試験80%・小テスト10%・授業への取り組み10% ☒ 筆記試験 ☐ 実技試験 ☐ その他					
備考						
回数	授業計画および学習内容					
1	コミュニケーションとは					
2	コミュニケーションのプロセス					
3	ノンバーバルコミュニケーション					
4	アンガーマネジメント					
5	対話スキル					
6	自己表現スキル①					
7	自己表現スキル②					
8	まとめ・定期試験					
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
教員紹介 (実務経験のある教員)	歯科医院で約6年間の臨床経験を積んだ後、フリーランス歯科衛生士として幅広く活動している。臨床経験を活かし、歯科衛生士に必要な実践的知識や患者対応について分かりやすく指導する。心理カウンセラーの資格をはじめ、アロマセラピストやフェイシャルリンパマッサージの資格も有し、心身の健康やコミュニケーションを大切に視点を授業に取り入れている。					

科目名		開講区分	授業形態	時間数・単位	実務経験	担当者
総合学修		1年次 不定期	講義 演習	15 1単位	有	和田 祐季
概要	学校生活について、実習について等の各種オリエンテーション。					
目標	歯科衛生士として必要な社会的スキル、総合的なスキルを習得する。 歯科衛生士としてのキャリアについて理解を深める。					
成績 評価	学科試験および出席状況により評定する。試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格とする。 定期試験80%・小テスト10%・授業への取り組み10% ■筆記試験 □実技試験 □その他					
備考						
回数	授業計画および学習内容					
1	学校生活について①					
2	学校生活について②					
3	身だしなみ					
4	学習スケジュールについて①					
5	学習スケジュールについて②					
6	実習について① 文章・レポートの書き方					
7	実習について② 実習における留意点					
8	復習・定期試験					
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
教員紹介 (実務経験のある教員)	歯科医院での臨床経験を経て、製菓専門学校や西東京調理師専門学校において、公衆衛生学をはじめとする専門科目の教育に長年携わる。歯科医療現場で培った実践的な知識と豊富な教育経験を活かし、健康と衛生に関する基礎知識を分かりやすく解説する。身近な事例を取り入れながら、学生が理解しやすく、実践につながる授業を行っている。					